

沢田 穰 治
contrabass

Motoko Honda
piano

2025 01月18日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3300+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



沢田 穰 治

ChoroClub のベーシストでありながら、様々な楽器を愉しむ。その活動は幅広く、ジャンルにとらわれない活動が続けながら様々なアーティストのプロデュースや映画、アニメ、ドラマなどの音楽制作なども多い。近年の作品にはアントニオ・カルロス・ジョビンの作品集「Canta Jobim」、2011年の震災を受け止めて音楽として昇華した「NO NUKES JAZZ ORCHESTRA」、「武満徹ソングブック」等、最近ではジャズギタリスト馬場孝喜「Gray Zone」、日本初録音となるジョージ・クラム作曲『マクロコスモス II』や畠山美由紀「歌で逢いましょう」などをプロデュース。アレンジャーとして今までおたか静流、川本真琴、フィッシュマンズ、忌野清志郎、太田裕美、バッファロー・ドーター、上間綾乃、松下奈緒などほか、多数手がける。活動においてはアルゼンチンやブラジルの音楽家からの信頼もあつく、レコーディングやセッションを重ねている。直近でのリリースでは高木正勝、渡辺亮、馬場孝喜など京都ゆかりの音楽家と共に制作した「Closeness Ensemble of Kyoto / WaBaSaTa」が song x jazz からリリース。

本田 素子

カリフォルニア州、サンフランシスコ/オークランド市在住、宮城県仙台市出身。4歳からピアノと音楽採譜の学習を始めて19歳で渡米、ベサニー大学ではピアノとパーカッションを専攻、カリフォルニア芸術大学院 (California Institute of the Arts) では、演奏家兼作曲家部 (African-American 即興演奏専攻) を卒業。後 UCLA で映画音楽作曲過程を修了。在学中21歳から室内音楽の演奏やコンチェルトのソリストとしてヨーロッパで演奏を始めるものの、大学院卒業後は大きく方向転換をし、エクスペリメンタル、ジャズ、パンクやエレクトロニクス音楽の作曲演奏家として声明をあげるという稀有な経歴をたどる。ロサンゼルス・タイムズ紙からは「キーボードの錬金術師」、そしてメタル・ジャズのグレッグ・バーク氏からは「ミュージズの化身」と評される等、エクステンデッド・テクニック (特殊奏法) と即興を融合した独自の作曲演奏技法と音楽性が高く評価され、ピューリッツァー賞ファイナリストのワダダ・レオ・スミスや、グッゲンハイム・フェロー受賞者のエリオット・シャープ、そしてルカス・リゲティ、ネルス・クライン、マイク・ワット、ベン・ウェンデルなど著名な音楽家と演奏や録音を多々行っている。2016年には芸術の非凡な能力保持者としてアメリカ永住権を獲得、現在ではピアニスト兼作曲家、そしてサウンドアーティストとして、様々な現代ピアノ演奏技術、現代音楽作曲技術、エレクトロニクスと即興演奏を融合したオリジナル音楽を様々な編成で演奏し、アメリカ、ヨーロッパ、日本も含め国際的に演奏活動を行なっている。Hammer Museum や Moody Center for the Arts 等の美術館での特別演奏、そしてアーティストレジデンシーでの特別作曲や演奏会、ダンサーやビジュアルアーティストとのコラボレーション公演会も様々な国で頻繁に行い、また UC サンタクルーズ、ライス大学、ArtEZ (オランダ)、東京造形大学、中京大学など、様々な大学からの招待講義/公演も国際的に行ってきている。